

様式第2号（第3条関係）

菓 子 製 造 業 従 事 証 明 書

氏 名	
生 年 月 日	年 月 日生
従 事 期 間	年 月 日から 年 月 日 年 月 日まで
事 業 所	名 称
	所 在 地
従 事 し た 業 務 内 容	

上記のとおり、菓子製造業に従事したことを証明します。

年 月 日

住 所

証 明 者 氏 名

印

被証明者との関係

注 1 この証明は、菓子製造業に従事している事業所の長又はその事業所が所属している組合等の長から受けること。

2 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

様式第2号（第3条関係）

【記入例】

菓子製造業従事証明書

氏名	県庁 花子
生年月日	平成 8 年 4 月 1 日生
従事期間	平成 28 年 3 月 1 日から 令和 3 年 4 月 4 日まで 5 年 1 月間
事業所	名称 〇〇製菓（株）広島店
	所在地 広島市〇区〇〇町〇〇番〇号
従事した業務内容	洋菓子類（ケーキ等）の製造

上記のとおり、菓子製造業に従事したことを証明します。

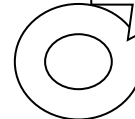
令和 8 年 5 月 7 日

住所 広島市〇区〇〇町〇〇番〇号

証明者氏名 〇〇製菓（株）
代表取締役社長 製菓 太郎

被証明者との関係 雇用者

「〇〇株式会社
取締役社長印」
等の職印



注 1 この証明は、菓子製造業に従事している事業所の長又はその事業所が所属している組合等の長から受けること。

2 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。

【記入時の注意事項】

- 原則として当該施設長が証明すること。ただし、従事者と施設長が同一人、配偶者又は二親等以内の血族の場合もしくは廃業等によって元の施設長がいない場合は、所属団体の長又は同業者が証明すること。
- 証明印は当該施設長の職印を用いること。個人が証明する場合は印鑑登録のしている印を用い、印鑑登録証明書を添付すること。
- 記載事項の訂正は証明印を使用すること。